

目黒区子ども読書活動推進計画 概要版

第1章 計画の基本的な考え方

(1) 子どもの読書活動の意義

子どもたちが情報を正しく判断し、生きる力を身につけていくためには、読解力や想像力、思考力、表現力等が必要です。これらの力を養うため、多様で正確な情報を得ることができる読書は極めて重要と言えます。また、子どもたちが読書の楽しさを感じ、充実感や満足感を得ながら、豊かな感性を養い、他者と心を通わせ、思いや考えを伝えあうことの大切さを学んでいくことが重要です。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、目黒区基本計画の補助計画として位置づけ、目黒区教育に関する大綱をはじめ、目黒区子ども総合計画、めぐろ学校教育プラン、目黒区立図書館基本方針など、他の関連計画等との整合性を図りながら、子ども読書活動推進の具体化を図っていきます。

(3) 計画の期間

令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とします。

(4) 計画の対象者

0歳児から概ね18歳までとします。

(5) 計画とSDGs

国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）のうち、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」、目標16「平和と公正をすべての人に」の視点を踏まえて取り組んでいきます。

【本計画に関連するSDGsゴール】



第2章 計画策定の背景

(1) 国の動き

平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、第五次計画（令和5年策定）では、「不読率の低減」、「多様な子どもたちの読書機会の確保」、「デジタル社会に対応した読書環境の整備」及び「子どもの視点に立った読書活動の推進」の4つの基本方針が出されました。

また、令和元年に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が施行され、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」を策定し、読書バリアフリーに係る各種の取組を進めています。

(2) 東京都の動き

平成15年3月に「東京都子ども読書活動推進計画」を策定し、「第四次東京都子供読書活動推進計画」（令和3年策定）では、「学校（園）、図書館、家庭・地域、行政が連携して都内の子供の読書環境を整え、子供の主体的・自発的な読書活動を、その発達段階に応じて推進していく」という基本方針を掲げています。

(3) 目黒区の動き

平成16年に「目黒区子ども読書活動推進のための方針」を策定し、目黒区の関係機関、保護者及びボランティアなどが連携した子どもの読書活動の環境づくりを目標に掲げ、児童及び中高生向け資料の充実、乳幼児を対象としたおはなし会の開催、区立小・中学校への団体貸出等を通じて、子ども読書活動推進に向けた様々な取組を行ってきました。

コロナ禍を契機に、区立小・中学校で学習用情報端末が整備されるなど、子どもたちを取り巻く環境に大きな変化が生じました。また、読書バリアフリー法の施行により、多様な背景を持つ全ての子どもの読書環境を整備することが求められています。こうした状況の変化を踏まえ、子どもたちの更なる読書活動の推進や読書環境の整備に向けて、「目黒区子ども読書活動推進計画」を策定します。

第3章 本区の子ども読書活動の現状と課題

(1) 読書活動実態調査の実施及び結果の概要

2024年12月から2025年1月にかけて、区内在住の小学生から高校生世代を対象にアンケート調査を実施しました。

- ・読書の状況については、目黒区の子どもの不読率(最近1か月間に全く本を読んでいない比率)は小学校低学年で東京都全体よりも低い傾向にあり、小学校高学年では東京都全体をやや上回るものの、中学生では全国を、高校生年代では全国及び東京都を大きく下回っています。
- ・読書との関わり方については、「本を読むことが好きですか」という質問に「好き」と答えた割合は、中学生までは年齢が上がるごとに低下しています。
- ・図書館の利用状況については、学校図書館は四人に一人、区立図書館は三人に一人が利用していない現状です。また、学校図書館・区立図書館共通で、年齢が上がるごとに利用率が低下しているのも特徴として挙げられます。

(2) 教職員等の意見聴取の実施及び結果の概要

区立小・中学校及び幼稚園・こども園の教職員等に自由記述形式で意見聴取を行いました。

教職員等の意見聴取結果については、「第6章 読書活動推進に向けた施策の展開」の各施策に反映しています。

(3) 子どもの意見聴取の実施及び結果の概要

区立小学校、中学校各1校を対象に、図書委員の児童・生徒から対面で意見聴取を行いました。

意見の詳細と反映した施策については、資料5に掲載しています。

(4) 本区における子ども読書活動推進のこれまでの取組と課題

これまで本区では、「1 家庭、地域における子ども読書活動の推進」、「2 区立図書館における子ども読書活動の推進」、「3 小・中学校における子ども読書活動の推進」、「4 幼稚園、保育園等における子ども読書活動の推進」について取り組んできました。

また、課題として、「ア 読書に親しむ環境づくり」、「イ 読書活動を支える人材との連携・協力」、「ウ 子どもが主体となる活動の創出・支援」、「エ 多様な子どもたちの読書機会の確保」、「オ デジタルにも対応した読書環境の整備」が挙げられます。

第4章 計画の目標及び基本方針

(1) 計画の目標

子どもたちが読書に親しみ、進んで読書をするための環境づくりと機会の充実に取り組むことにより、子どもたちが学びの基盤を獲得し、成長してからも高い知的好奇心を持ち、生涯にわたり主体的に学び続けることができるようになることを目指すとともに、大人も含め世代を超えた読書活動の推進につなげていくことを本計画の目標とします。

(2) 計画の基本方針

計画の目標実現に向け、本計画では「①本に触れる機会を増やす取組」、「②多様な子どもたちへのサポート」、「③デジタル社会への対応」、「④子どもの視点に立った読書活動の推進」、「⑤自発的学習への支援」の5つの基本方針を掲げます。

第5章 読書活動推進に向けた施策の方向性

基本方針と施策の方向性を組み合わせ、具体的な取組を整理し、体系的に設定することにより効果的に施策を展開していきます。

(1) 乳幼児（0～5歳程度）を対象とした読書活動の推進

家庭で本に親しむための環境づくりや、読書の楽しさに触れられる機会の充実に継続的に取り組むとともに、子どもの読書環境の整備を地域全体で支援していきます。

(2) 小学生（6～12歳程度）を対象とした読書活動の推進

区立図書館、児童館、学童保育クラブなど、多様な場で豊かな読書体験ができる環境の充実に図るとともに、様々な学習活動を通じて読書の楽しみを体験し、子どもが自主的に知りたいことを調べる力を養い、子どもの学ぶ力を育む読書活動を推進します。

(3) 中高生世代（13～18歳程度）を対象とした読書活動の推進

図書館資料の充実に図るとともに、中高生世代の多様な興味関心に応える環境づくり等を進めていきます。

(4) 子どもの読書活動推進に関わる学校等関係機関の連携・協力

学校、児童館、学童保育クラブ等への図書館資料の団体貸出、出張おはなし会やブックトーク、図書館訪問など、各関係機関やボランティア、学校、区立図書館等が相互に連携して、子どもたちがより多くの本と出会い、読書の幅を広げる機会を提供していきます。

(5) 子どもの読書活動推進に関わる担い手の育成

読書活動の担い手を育成するために、区立図書館・学校等において計画的・継続的な研修を行うとともに、ボランティアや学校図書館支援員の活用・支援も行っていきます。

第6章 読書活動推進に向けた施策の展開

☆基本方針と施策の方向性の対応関係

施策表示：(施策番号 施策名)

【基本方針】	【施策の方向性】				
	乳幼児を対象とした読書活動の推進	小学生を対象とした読書活動の推進	中高生世代を対象とした読書活動の推進	子どもの読書活動推進に関わる学校等関係機関の連携・協力	子どもの読書活動推進に関わる担い手の育成
① 本に触れる機会を増やす取組	1 本との出会い事業の推進 2 幼児教育における親子読書や読み聞かせ等の啓発の推進 3 おはなし会の実施 4 乳幼児向け出張おはなし会 5 成長発達に応じた図書の紹介 7 園文庫(図書スペース)の整備 8 子ども読書活動の啓発広報の推進	9 子どもが読みたい本を提供する仕組みづくり 6 小学校向けおすすめ本リストの充実 11 各学校の特色を生かした読書活動の充実の取組 12、14 保護者に対する読書情報の発信と読書推進の働きかけ 13 学校の優れた読書活動の実践例の収集と紹介	10 子どもの読書推進のための資料の充実 15 学校以外の機関との連携による事業の実施 16 読み聞かせボランティアの活動支援 19 学校図書館担当教諭の研修の推進	13 学校の優れた読書活動の実践例の収集と紹介 17 読み聞かせボランティアの育成及び活動の推進 18 絵本読み聞かせシニアボランティアの養成 20 学校図書館のボランティアの活用の推進	
② 多様な子どもたちへのサポート		21 多様な資料の充実と周知 22 アクセシブル資料コーナーの設置 23 館内利用案内の工夫 24、25、26 子どもが読みたい本を提供する仕組みづくり 27 特別支援学級における読み聞かせなどの読書活動の充実 28 図書館訪問(特別支援学級) 29、30 外国語を母語とする子どもに対するサービスの充実			
③ デジタル社会への対応		31 めぐる電子図書館の周知 32 めぐる電子図書館の学校での利用のための環境整備			
④ 子どもの視点に立った読書活動の推進	33 乳幼児のための事業の推進 34 園児と保護者の図書館利用の促進 37 児童コーナーの設置 38 再利用資料の提供	36 小学校向け夏休み課題図書の購入 35 児童館・学童保育クラブの図書の充実 39 読書記録ページの活用 40 施設案内の工夫	41 YA 資料コーナーの設置 42 中高生向けPRの充実		
⑤ 自発的学習への支援		45 自発的学習のための資料の充実 43、44 読書活動充実のための学校図書館活用の推進 46、47 総合的な学習の支援 48 小学校と区立図書館の交流・連携 49 まちたんけんの実施	48 小学校と区立図書館の交流・連携 50 図書館の職場体験受け入れ		